

■■ 授業科目名	■■ 科目区分	
英語音声学 I English phonetics I	■■ 時間割コード	
■■ 講義題目	104540	
	■■ 年度	■■ 時間割
	2011	前期 金4
■■ 担当教員	■■ 単位数	■■ 教室
長井 克己[Nagai Katsumi]	1	
	■■ 対象年次及び学科	
	2～ 教育学部	

■■ 関連授業科目

英語音声学II

■■ 履修推奨科目

■■ 授業の概要

言語の本質である音声について、語学教師として必要な（１）正確な聞き取り、（２）明瞭な発音、（３）それらの指導法、を学ぶ。実技科目であるため、口を動かさない受講者の単位は認定できない。また、医学科の学生が骨や筋肉の名前を覚えさせられるのと同様に、プロの語学教師となる者は、調音器官の名称や、辞書で用いられる発音記号の暗記が必要となる。苦しいが頑張ること。

■■ 授業の目的・達成目標

1. 母音と子音の正確な聞き取りと、丁寧な発音ができるようになる。
2. 発音記号の仕組みを理解し、使えるようになる。

■■ 授業及び学習の方法

1. Podcastの英語ニュースを利用し、自然な速度の英語の聞き取り練習を行う。
2. 教科書の指示を正確に読み、付属CDを利用して正確な発音を練習する。

■■ 成績評価の方法と基準

授業中の発表（30%）、課題演習（20%）、及び期末テスト（50%）の合計で単位を認定する。

■■ 授業計画

Wk 1 Introduction to the course
 Wk 2 The consonant system 1 (pp. 50-55)
 Wk 3 The consonant system 2 (pp. 56-63)
 Wk 4 The consonant system 3 (pp. 62-77)
 Wk 5 The consonant system 4 (pp. 77-94)
 Wk 6 The consonant system 5 (pp. 94-109)
 Wk 7 Tutorial / Discussion (pp. 110-111)
 Wk 8 The vowel system 1 (pp. 113-122)
 Wk 9 The vowel system 2 (pp. 122-136)
 Wk 10 The vowel system 3 (pp. 137-160)
 Wk 11 Tutorial / Discussion (pp.161-162)
 Wk 12 The sound system and morphology (pp. 394-416)

Wk 13 The sound system and spelling (pp. 419-444)
Wk 14 Tutorial / Term exam
Wk 15 Follow-up / Discussion

教科書

Celce-Murcia, Brinton, and Goodwin. (2010). Teaching Pronunciation (2nd. ed.).
Cambridge U.P. ISBN 978-0-52172976-5. 後期も続けて使用.

教科書は北米ローカルなアメリカ式表記なので、IPA及び日本の教科書・辞書の表記との違いに常に注意すること。

参考書

教科書は語学教師が書いたものなので、音声学を専門的に学びたいければ Bibliography の Roach (2000,初級向け)や Ladefoged (2005a,現在は6版,やや専門的)に挑戦するとよい。日本語で読めるものなら、音声学一般については「改訂音声学入門」(小泉 2003, 大学書林), 英語の音声学については「英語音声学」(竹林1996, 研究社)が易しく読みやすい。

オフィスアワー

金曜13:00-14:30 (予定) .

履修上の注意

聴覚や構音に障害を持つ学生は履修前に必ず相談のこと。

参照ホームページ

www.ed.kagawa-u.ac.jp/~nagai/

メールアドレス

全て半角で `nagai` の後に `@cc.kagawa-u.ac.jp` をつけてください

キーワード

英語 音声学 発音